どきどき わくわく いきいき 子育てひろば

すこやかコラム

予防接種を受けましょう

皆さんのお子さんは予防接種を受けていますか？　子どもは、病気に対する免疫（抵抗力）が大人のようについていないため、病気にかかりやすく、重症になることがあります。そのため、子どもにかかって欲しくない病気を予防するために行うのが予防接種です。

予防接種は、「生まれてから定められた年齢に合わせて受けるように努めなければならない」と法律で定められています。日本は衛生状況が良いと言われていますが、細菌やウイルスに対する特効薬が少ないため、体に免疫をつくり病気の感染を予防することが大切です。

次の①～④は予防接種を受ける前に心掛けることです。よく読んでから予防接種を受けましょう。分からないことは、市の担当課や病院でお聞きください。

①市からの予防接種の通知や「予防接種と子どもの健康」の小冊子をよくご確認ください。受ける予防接種の必要性や効果、副反応（不具合な反応）などを把握しておきましょう。

②個別接種の場合は、かかりつけ医（予防接種医）に予約しましょう。

③お子さんの体調の良い日に受けましょう。

④母子健康手帳を持って行きましょう。

原稿…市保健師

地域子育て支援センター

リズム遊びに行ってきました

３月26日（水）、約30組の親子が参加して行われた「リズム遊びを楽しもう！」。音楽に合わせて体を動かしたり、親子でダンスを踊ったり、手遊びをしたり、子どもたちは楽しそうに遊んでいました。

参加したお母さんに話を聞くと「リズム遊びは、子どもはもちろん、親も一緒に楽しめます。まだ参加したことのないお母さん、ぜひ一緒に楽しみましょう。たくさんの知り合いができますよ」と話してくれました。

※平成20年度は、季節の歌遊びを楽しもう！　と題して行われています。

センターの催し

◎子育て健康相談by保健師
～確かめて　ホッと安心　健やか子育て～
とき　5月1日・6月5日（木）
午前10時30分～11時30分
※申し込みの必要はありません。

◎春・夏・秋・冬　季節の歌遊びを楽しもう！
とき　5月21日（水）
午前10時45分～11時30分
※申し込みの必要はありません。

◎ママのミニ学習会「親業」
～親子のあたたかな心の架け橋を築こう～
とき　5月9日（金）
午前10時15分～正午
講師　斎藤（さいとう）エツ子（こ）氏
申込期限　5月8日（木）
※お子さんを無料でお預かりします。

◎ママのミニ学習会「こころ編」
～幼児期ってどんな時期？～
とき　5月20日（火）
午後1時45分～3時45分
講師　丸山隆（まるやまたかし）氏
申込期限　5月19日（月）
※お子さんを無料でお預かりします。

開催場所　前記すべて子育て支援センター
申込先及びくわしくは
地域子育て支援センター
☎（22）2299

◎みんなであそぼう！
とき　5月28日（水）午前10時～11時
ところ　原町みどり保育園
※申し込みの必要はありません。
くわしくは　原町みどり保育園
☎（22）4588

図書館だより

ホームページアドレス
http://lib.nikkocity.jp/
携帯電話用アドレス
http://opac.city.nikko.lg.jp/

お問い合わせは

今市図書館　☎22-6216
開館時間：午前９時～午後７時
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

日光図書館　☎53-3700
開館時間：午前９時30分～午後６時
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

藤原図書館　☎76-1203
開館時間：午前９時30分～午後６時
休館日：毎週火曜日（祝日の場合は翌日）

5月の催し

▼今市図書館

◎読書会（二水会）
とき　5月7日（水）
午後1時30分～3時

◎おはなし会
とき　5月10日・24日（土）
午後2時～3時
内容　絵本の読み聞かせや紙芝居、折り紙など

▼日光図書館

◎本のリサイクル市
とき　5月24日（土）・25日（日）
午前9時～午後3時
※1人10冊まで、無料で本・雑誌を差し上げます。

◎読書会（いずみの会）
とき　5月16日（金）
午前10時～11時・午前11時～正午（2回）

◎おはなし会
とき　毎週土曜日・5月25日（日）
午後2時～3時
※5月24日（土）は、午前10時～正午と午後2時～3時の2回行います。
内容　絵本の読み聞かせや手遊びなど

◎赤ちゃんのためのおはなし会
とき　5月1日・15日（木）
午前10時30分～11時
5月25日（日）
午前10時～11時
内容　絵本の読み聞かせや手遊びなど

▼藤原図書館

◎おはなし会
とき　5月24日（土）
午後1時30分～2時30分
内容　絵本の読み聞かせや人形劇など

図書館コラム

本を楽しもう！

『おくのほそ道』と日光

『おくのほそ道』は、江戸時代の俳人、松尾芭蕉（まつおばしょう）が弟子の曾良（そら）とともに江戸から奥羽・北陸地方へ旅をしたときの様子をつづった作品で、紀行文学の傑作として知られています。

さて、芭蕉が旅の途中、日光に寄ったことは、皆さんもよくご存じのことと思います。今回は、芭蕉の日光市内における旅の様子を、曾良が書いた『曾良旅日記（そらたびにっき）』などを参考にたどってみましょう。

まず、２人が江戸を出発したのが旧暦３月27日（今の暦で５月16日）。途中、春日部、間々田と宿泊し、３月29日（５月18日）には鹿沼に到着。そこで一泊し、翌４月１日（５月19日）は、小雨の中、例幣使街道を北上。文挟、板橋、今市を通り、昼には日光に到着します。その頃には雨も上がり、さっそく一行は東照宮に向かいます。午後３時ごろから拝観し、その後、宿に向かいます。宿は上鉢石（かみはついし）の五佐衛門（ござえもん）という人のところでしたが、この五佐衛門は、仏五佐衛門（ほとけござえもん）とあだ名されるほど、正直で善良な人で、芭蕉は、とても感心したそうです。

日光に芭蕉を感心させた人がいたなんて、ちょっと誇らしくなりますね。

翌日の午前中は、裏見の滝、含満（がんまん）が淵（ふち）を見学し、その後、次の目的地の黒羽を目指して出発します。通常は、今市まで戻ってから大渡へ向かうのですが、五佐衛門に教えてもらった近道（大谷川を渡り、瀬尾、川室を通って大渡に出るルート）を通って船生に出て、さらに旅を続けました。

あなたも、紀行文学を読んで旅の気分を味わってみてはいかがですか。